

ふれあいトムともだより No. 13

鶴牧・落合・南野地区地域福祉推進委員会

～コロナに負けない！住民発！！新しいつながり方とは？～

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域のお祭りやイベントなどが出来なくなり、地域活動が停止してしまった地域も少なくないのではないのでしょうか。そんな人との接触や集まりを制限されていた中でも行われた地域活動や新たな地域課題として見えてきたこともあるかと思えます。今年度のトムともではコロナの状況と合わせて防災や見守りなど様々な視点から考えていきたいと思えます。

裏面には実践された事例をご紹介します！ぜひご参考ください。

今年度の予定

第1回 9月12日(土) トムハウス

第2回 11月7日(土) トムハウス

第3回 1月 ※

第4回 3月 ※

※トムハウスの改修工事に伴い、1・3月の日程及び会場 調整中

※今後の感染者の状況によっては変更または中止する場合があります。
詳細が決まり次第お知らせしますので、よろしくお願い致します。



ふれあいトムとも(鶴牧・落合・南野地区地域福祉推進委員会)とは

自治会・住宅管理組合やサロン、民生・児童委員、地域包括支援センターなど様々な団体のネットワークづくりを推進しています。

「ふれあいトムとも」で情報共有や意見交換を行い、「地域の横のつながり」をつくることで、地域の課題や活性化を図る応援をします。

日頃、地域で感じている心配事やご意見など、ぜひ皆さまの声を聞かせてください！ ご参加をお待ちしております。

～地域へ発信！コロナ禍でもつながろう！！～

年が明けた頃から「新型コロナウイルス」関連のニュースが連日のように流れました。緊急事態宣言発令後は外出や人との接触を避けるよう呼びかけられ、閉じこもりがちになったり、運動不足を感じたりする方も少なくなかったと思います。

そんな中でも地域に何か発信できないか、住民の皆さんが考え実践された事例をご紹介します。



グリーンメゾン鶴牧3「環の会」

グリーンメゾン鶴牧3では「環の会」というサロン活動を行っています。緊急事態宣言を受けてサロン活動が休止となりましたが、「孤独感や孤立感を和らげる手立てはないか」と考えた結果、広報誌を通じて団地内の交流を図ることにしました。

住民の皆さんに塗り絵やオススメの散歩道、自粛中の生活について募集を行い、それらを「環の会通信特別号」にまとめて10日に1回発行し、全戸に配布しました。

小さなお子さんからご高齢の方までたくさんの投稿があり、緊急事態宣言下に皆さんがどんな生活をされているか知るきっかけにもなりました。直接会えない中でもお住まいの地域の中でのつながりを感じることができたそうです。



他地域の取り組みの紹介

◎百草団地地区では地域の人たちを何とか元気づきたい！との思いから地域福祉推進委員会でURの掲示板に壁新聞を掲載しました。

壁新聞には、地域包括支援センター、社会福祉協議会、同委員会のメンバーらが、地域住民に向けて励ましの言葉や自宅ですること、今感じていることなどの手書きメッセージが張り付けられており、手書きならではの温かみを感じられるメッセージとなっています。



◎連光寺・聖ヶ丘地区では地域福祉推進委員会の広報誌で自粛中の生活についてビデオメッセージ特集をしました。住民の方から学校の先生まで、自粛中の生活についてお話されている動画がQRコードで読み取ると見られるという画期的なもの！

こんな状況だからこそオンラインでのつながりが新たなつながり方の1つになるのかもしれないね。

編集・発行
問合せ

ふれあいトムとも 世話人会
多摩市社会福祉協議会 地域福祉推進課 まちづくり推進担当
多摩市関戸4-72 ガイター・コミュニティー7階 多摩ボランティア・市民活動支援センター内
TEL:042-373-5616 FAX:042-373-6629 担当:大槻・福田